

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 観光ホスピタリティ推進事業補助金
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	2	暖かいもてなしの心の醸成
事務事業番号	001	事務事業コード 31122001 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光ホスピタリティ推進事業補助金
------	------	------------	------------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 観光客に対するホスピタリティ精神の啓発の促進
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が実施する、観光客受入のためのソフト事業に対し補助金を交付して支援する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 登別に訪れる観光客等を暖かく迎える、ホスピタリティ精神の啓発を促進し観光振興を図り、観光客の増加を促進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	/	/	/	/
	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	900	900	900	900	900	2,700
合 計			900	900	900	900	900	2,700
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,299	1,334			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,299	1,334			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 全市的なホスピタリティ精神の普及を図り、訪れる観光客等を暖かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し、観光振興を図る事業であり、市が補助することは妥当である。
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 訪れる観光客等を暖かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し、観光客から好評である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後も継続して行うことにより、さらなるホスピタリティ精神の普及を図ることにより、観光客の増加に資することができると思う。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 現状が最低限の事業費であり、これ以上削減すると事業の継続が難しい。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	全市的なホスピタリティの精神の普及を図り、訪れる観光客等を暖かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し、観光振興を図るために当該事業を継続する必要がある。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）